

お知らせ

ホワイトスペース利用システムの運用調整体制を立ち上げ ～TVホワイトスペース利用システム運用調整連絡会～

平成25年1月18日

TVホワイトスペース利用システム運用調整連絡会
会長 森川 博之

有限希少な資源である電波を有効利用し、国民の利便性向上につなげる観点から、ホワイトスペース（放送用などある目的に割り当てられているが、地理的条件や時間的条件によって他の目的にも利用可能な周波数帯）の活用が期待されています。

このため、総務省ではホワイトスペース推進会議（以下「推進会議」という。）を開催しており、様々なシステムがホワイトスペースを共用するために必要となる技術面、制度面及び運用面における方向性をまとめた「ホワイトスペース利用システムの共用方針」（平成24年1月）が推進会議で取りまとめられました。

その後、推進会議は、平成24年8月から「ホワイトスペース利用作業班」を開催し、特定ラジオマイクとエリア放送や、その他のホワイトスペース利用システム(*)の運用調整の仕組みについて、平成25年1月11日に「ホワイトスペース利用システムの運用調整の仕組み 最終とりまとめ」として取りまとめました。

この推進会議での取りまとめを踏まえ、平成25年1月17日、地上デジタルテレビジョン放送事業者及び事業者団体、特定ラジオマイク免許人団体及びエリア放送免許人並びに学識経験者等が参集して、TVホワイトスペース利用システム運用調整連絡会（以下「連絡会」という。）の設立総会を開催しました。同総会においては、規約、運用調整等実施規程などを定めると共に、役員を選出し、運用調整体制を立ち上げました。連絡会の概要は別紙のとおりです。

連絡会では、ホワイトスペース利用システムの運用調整の仕組みにより、ホワイトスペースを活用したサービスやシステムの推進に寄与して参ります。

[連絡会事務局]

- ・ 一般財団法人 電波技術協会
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-12-6
- ・ 担 当 加藤 千早、平畠 茂
- ・ 電話番号 044-951-0111、 Fax 044-951-0201
- ・ メールアドレス unyou.ws_atmark_reea.or.jp

(スパムメール防止のため「@」を「_atmark_」に換えて表記しています。)

(*) 「ホワイトスペース利用システム」とは、地上デジタルテレビジョン放送用周波数においてホワイトスペースを共用する無線システムを言う。

TVホワイトスペース利用システム運用調整連絡会の概要

1 目的

地上デジタルテレビジョン放送用周波数（470～710MHz）ホワイトスペースにおいて、ホワイトスペース利用システムである特定ラジオマイク及びエリア放送の円滑な運用を確保するため関係者間の連絡・調整、運用調整及び障害発生時の対応

2 活動内容

- (1) 地上デジタルテレビジョン放送の受信障害等の発生時における、地上デジタルテレビジョン放送事業者と特定ラジオマイク免許人及びエリア放送免許人との間での連絡・調整
- (2) 特定ラジオマイクとエリア放送との間での運用調整や障害発生時の対応
- (3) 特定ラジオマイクの周波数移行によるホワイトスペースでの利用が増加することを踏まえた、(2)の対応を本格的に実施するための組織への移行の検討
- (4) その他連絡、運用、調整及び障害対応にあたって必要な事項

3 役員

会長： 森川博之 東京大学先端科学技術研究センター 教授

副会長： 高田潤一 東京工業大学大学院理工学研究科 教授

4 体制

幹事会、運用調整部会、受信障害対応連絡部会

5 事務局

一般財団法人 電波技術協会